

# クラークUNDP総裁 不平等の是正不可欠

日本は産業技術や援助などを通じアフリカへの投資や開発を支えている。国連開発計画（UNDP）は、ヤマハ発動機と組んでモリタニアの浄水支援などを手がけた。



サハラ砂漠以南では経済成長が軌道に乗り、北アフリカでは民主体制への移行が進んでいる。しかし、持続可能な開発に向けて貧困の撲滅や、社会的・経済的不平等の是正も欠かせない。アフリカ諸国側が統治とマクロ経済政策を改善できれば、成長の起爆剤となる新しい投資を引き付けることが容易になる。

投資環境を改善するため、人材と組織の能力を高める努力を強化することも重要だ。地域の経済統合を進めて市場を拡大すれば、貿易や投資、人や技術の移動を増やせる。今回の会議を通じた協力は、民間セクターが投資や開発を推進しやすい環境の整備に寄与するだろう。（寄稿）